

(学位論文の評価基準)

学位論文判定にあたっては、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が身についているかを総合的に評価し、可否を判定する。

また、以下の観点から論文を審査する。

1. 当該研究領域における修士としての十分な知識を修得し、問題を的確に把握し、説明する能力を身につけているか。
2. 研究テーマの設定が申請された学位に対して妥当なものであり、論文作成にあたっての問題意識が明確であるか。
3. 論文の記述（本文、図、表、引用など）が十分かつ適切であり、結論に至るまで首尾一貫した論理構成になっているか。
4. 設定したテーマの研究に際して、適切な研究方法、調査・実験方法、あるいは論証方法を採用し、それに則って具体的な分析・考察がなされているか。
5. 当該研究領域の理論的見地または実証的見地から見て、独自の価値を有するものとなっているか。

なお、審査委員の体制、審査の方法及び提出の手続きについては別に定める。